

# 1 大分市民の人権に関する意識って!?

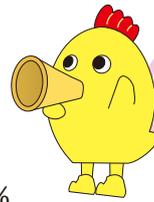
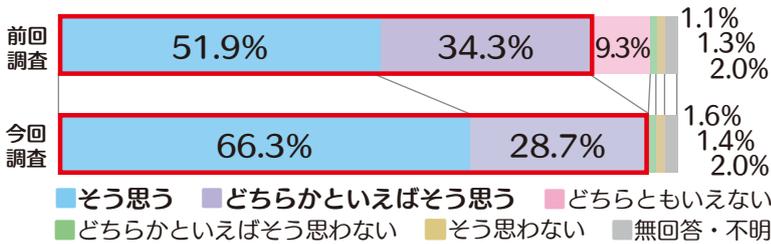


大分市では、2010年から5年ごとに「人権に関する市民意識調査」を実施しているんだ。  
2020年度に実施した3回目の調査報告書から、大分市民の人権に関する意識を探ってみよう!



大分市民の人権・同和問題に関する意識の現状を把握・分析し、今後の人権教育・啓発を有効に進めるための基礎資料とする調査です。

## 差別は人間として最も恥ずべき行為のひとつである



95%の人が、差別は最も恥ずべき行為だと思っていることがわかるよ。前回調査と比べても増えているね。

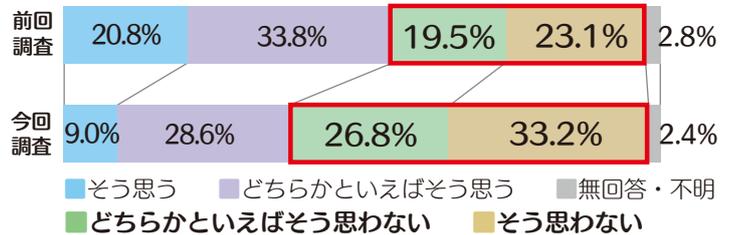
差別は許さないぞ! という意識の高まりがみられるね。



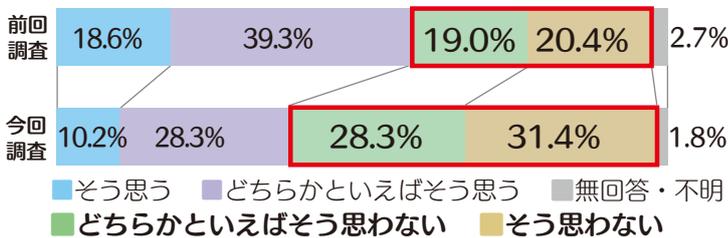
## 子どもが約束を守らなかった時、しつけのために少しくらいたたいてもよい



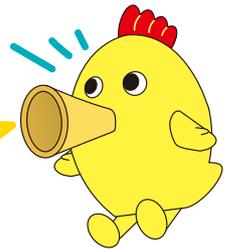
60%の人が、しつけのためでも子どもをたたいてはいけないと思っていることがわかるよ。



## 子育ての間は、母親は育児に専念したほうがよい

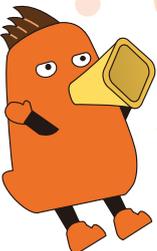


59.7%の人が、育児は母親だけの問題ではないと思っていることがわかるよ。



子どもや女性の人権については、報道やマスメディア等でも取り上げられ、知る機会や考える場面が増えたから、人権感覚が高まったんじゃないかな。

「知る」ことや「考える」ことは、大事だって言えるね。

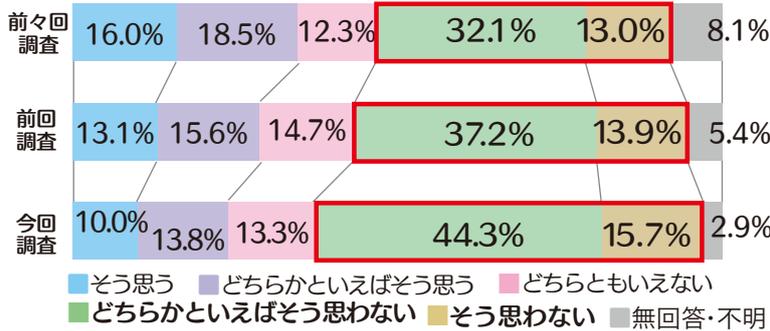


前回調査と比べると、大きく変化しているね。





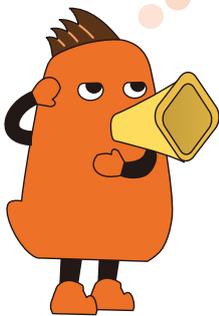
## そっとしておけば、自然と部落差別はなくなっていく



60%の人が、間違っている考え方と思っていることがわかるよ。そして、そういう人がどんどん増えているね。



### 部落差別の解消に向けた考え方についての質問だね。



この考え方は、知らなければ差別しない、差別はなくなっていくということ。  
でも、何も知らない人が、**偏見**を持つ人の話やインターネット上の差別的で誤った書き込みをうのみにすると、偏見や差別につながってしまうことがあるんだ。

それに、部落差別解消推進法（2016年施行）では、『**現在もなお部落差別が存在する**』と書かれてある。そっとしておくことは、差別をされている人に**我慢**をさせているのと同じだよ。

『**知って差別しない**』ということが大切だよね！

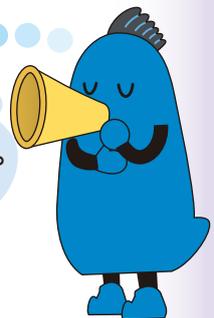


## 部落差別の解消に向けて自分にもできることがある



『ある』は37.4%。  
3人に1人以上がそう思ってるって心強いね。

でも…、『ない』が16.2%。  
そして、『わからない』が42.7%。  
合わせると58.9%だ。



『ない』や『わからない』の58.9%中には、思いはありながらも具体的に何ができるかわからないという意見が多く含まれているって信じたい！



だから、差別の解消に向けてできることを具体的に紹介して、『**自分にもできること**』があるって気付いてもらおうよ！

それはいい考えだよ。



何ができるかわかさが探したいこう！

